



日本のジーンズをを目指すもんぺ 自由な感性が光る地域文化商社 株式会社うなぎの寝床

(福岡県八女市)

ふるさと名品オブ・ザ・イヤーとは

内閣府、農林水産省、経済産業省後援のもと、民間企業などが独自の切り口による部門提供者として推進し、地域の名品とそれを支えるストーリーを応援する表彰制度。この制度においてリクルートジョブズは、「地方創生を担う働き手を確保するには、主婦やシニアなどの多様な方が働ける環境をつくる」ことが重要」との考えから、「主婦やシニアの方の活躍創出部門」を提供。2018年度にエントリーいただいた、地方創生に貢献する全国各地9事業者の人材・商品取り組みについてご紹介します。

▲うなぎの寝床の大ヒット商品「MONPE」。筑後地域の伝統工芸品である木綿生地・久留米紬を使っており、軽く柔らかな風合いで肌ざわりが良い。着こなしやすい現代風デザインが人気となり、2016年にはグッドデザイン賞を受賞。人気女性誌の通販サイトで取り扱われ、東京のセレクトショップや美術館で企画展を行うなど注目度も高い

▼営業の原博子さん。「どのスタッフも思いを持って仕事に取り組み、意見交換も活発。風通しのいい会社で、毎日充実して楽しいです」



株式会社うなぎの寝床

福岡県八女市本町267 TEL 0943-22-3699
 <事業内容>メーカー、小売、コンサルティングなど、
 地域文化を担保する商品・サービスにかかわる経済活動
<http://unagino-nedoko.net/>
<http://monpe.info/>

多様なライフステージの女性が、いきいきと働く
 うなぎの寝床の女性スタッフは社員、パート、業務委託など、雇用・契約形態がさまざま。「女性が結婚、出産、子育てといったターニングポイントに立ったとき、仕事と家庭の両立で悩んでほしくない」と、そのときの本人の思いやライフスタイルに合う雇用・契約形態を適用しています」と白水さん。その甲斐あって同社にはバリバリ仕事をこなす女性、これから育休に入る女性など多様なライフステージの女性が。仕事も人生も謳歌してほしいという白水さんの思いが、楽しみながら無理なく働ける環境を生み出しています。

柔軟な発想から生まれた現代風もんぺが大ヒット
 うなぎの寝床は、主に福岡県南部・筑後地域の特産品や伝統工芸品にかかわる多彩な事業を展開する地域文化商社。衣類などのメーカー事業も行っており、中でも地元の特産物・久留米紬（くるめかすり）を使った「MONPE（もんぺ）」は大ヒット商品に。もんぺといえば、戦時下の日本で日常着や農作業着として広まった婦人服。代表取締役の白水高広さんは、「ジーンズはもともと作業着だった。農作業着だったもんぺも今のファッションに取り入れることができるのでは？」と考え、現代風の細身のもんぺを開発。久留米紬ならではの肌ざわりの良さ・着こなしやすさで大人気となっています。



▲代表取締役社長の白水高広さん。グラフィックデザイナー、筑後地域における地域活性化プロジェクトの主任推進員を経て現職に。商業活動で地域文化を盛り上げる「地域文化商社」として、店舗運営、メーカー、WEBサイト制作、他地域との交流・交易など、地域に足りない要素や機能をサポートする幅広い活動を展開中

リクルートジョブズのサイトにて詳細をご紹介します。 <https://www.recruitjobs.co.jp/furusato/>

